



## 議会日誌

### 1月

- 16日 第1回全員協議会
- 30日 北海道市町村職員退職手当組合議会定例会（札幌市）

### 2月

- 3日 オホーツク町村議会議長会役員会・定期総会（遠軽町）

### 3月

- 3日 第1回津別町議会臨時会  
第2回全員協議会  
第1回総務文教常任委員会  
第1回産業福祉常任委員会  
第2回議会広報常任委員会  
第1回議会運営委員会  
第3回全員協議会
- 4日 第2回総務文教常任委員会
- 5日 第2回産業福祉常任委員会
- 7日 第2回議会運営委員会
- 11～25日 第2回津別町議会定例会
- 12日 第3回議会広報常任委員会
- 13日 第3回議会運営委員会

### 4月

- 14日 第4回議会広報常任委員会

## 議会を傍聴してみませんか

会議当日の受け付けで傍聴できます。気軽にお越しください。

※日程は、町のホームページで確認していただくか、議会事務局へお問い合わせください。

令和7年度の予算の審議について、世界の不安定な状況を受け、さまざまなものが値上がりし、日常生活の不安が大きくなっておりま。

また、お隣の北見市では45億円の財源不足が見込まれ、財政健全化を図ると報道され、「津別は大丈夫なのか」「影響はないのか」といった声も多く聞くこととなりました。

このような厳しい状況で令和7年度の予算審議を行いました。ふるさと納税推進業務では新たな体制をつくり、寄附額1億円を改めて目指し、津別病院については、先行きは見えないながらも病院施設整備基金積立金として1億円を積み増します。さらに、北見市のごみ焼却施設に対して、燃焼代や人件費の高騰による使用料の増額があるが、津別のごみ袋の値段は据え置く等の回答を頂き、令和7年度の予算が可決されました。

わが町は平成の大合併の時に自分たちの道を歩む選択をしました。依然として厳しい財政状況ではありますが、力を合わせ、子どもたちのためにも明るい未来が訪れるよう力を尽くしてまいります。

（小林）

## 意見書

■厚生年金への地方議会議員の加入のための法整備を求める意見書

■持続可能な学校の実現をめざす意見書

### 【要旨】

今、学校現場は、教員希望者の減少に加え、病気休職者の増加や早期退職者の増加など、深刻な教職員不足により子どもたちの学びに大きな支障を及ぼしている。持続可能な学校の実現のためには、教職員の勤務環境の改善、とりわけ長時間労働の是正が喫緊かつ最大の課題である。令和6年4月には、猶予期間が設けられていた5業種に労基法時間外上限が付され、社会全体が勤務時間の適正化にむかう中、給特法適用の教員については上限を守らない状態が放置されている。

「骨太方針2024」では、中教審「審議のまとめ」をふまえ、「2026年度までを集中改革期間とし、働き方改革の更なる加速化、処遇改善、指導・運営体制の充実、育成支援を一体的に進める」、「2025年度通常国会に教職調整額の水準や各種手当の見直しなど給特法改正案を提出する」としている。

学校の働き方改革の前進を図るとした「骨太方針」が実現されたとしても長時間労働是正には不十分であり、教員の健康と福祉が守られていない状況の抜本的な是正策として、具体的な業務削減、教員の業務負担軽減につながる教職員定数改善などを策定・実施すべきである。また、令和元年に改正された給特法の附帯決議の趣旨をふまえた更なる施策の実施が欠かせない。

国においては、持続可能な学校の実現と子どもたちのゆたかな学びの保障のため、学校の長時間労働是正に資する政策実行を求める。

## は ぐ る ま